

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-51	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論Ⅲ 710	FACTBOOK English Logic and Expression III		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条の目標を達成するため、題材および言語活動の内容は、生徒の発達段階を考慮しつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
1st Stage	Unit 1 Future of jobs in the AI era	AIに将来取って代わられない職業について意見を述べる活動を通じて、創造性を培いながら、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第2号)	pp.14-19
	Unit 2 How have you grown as a person in your high school life?	自身が成長した経験について述べる活動を通じて、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う。(第2号) また、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号)	pp.20-25
	Unit 3 How do people use different types of media?	ニュースサービスの利用状況を説明する活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。(第1号)	pp.26-31
	Unit 4 3R approach in order to save the environment	環境保護の方法を見つけるために3Rの特徴について述べる活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.32-37
	Unit 5 Moving toward a cashless society	キャッシュレス決済の普及の原因とその利点について述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.38-43
2nd Stage	Unit 6 Are artificial additives really bad for us?	食品添加物の摂取について述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。(第1号)	pp.44-49
	Unit 7 Japanese culture attracting people all over the world	日本文化を多角的に説明しながら紹介する活動を通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う。(第5号)	pp.50-55
	Unit 8 Will we live in a decarbonized society in the future?	エネルギー構成比を示すグラフを説明する活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号) また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.56-61

	Unit 9 Reading e-books or printed books?	電子教科書と紙の教科書の違いについて述べる活動を通じて、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。(第2号)	pp.62-67
	Unit 10 The way we live together in the same world	社会的な差別の問題とその解決方法について述べる活動を通じて、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号) また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)	pp.68-73
3rd Stage	Thinking Logically What can we do about our shrinking population?	少子化について、その原因及び結果、また解決策を述べる活動を通じて、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第2号)、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.74-84

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条第2号の「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」及び第3号の「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を目指して、特に以下の点に留意した。

- ・日常的な話題や社会的な話題について幅広い視点からやり取りや発表、書く活動を行うことができるように、SDGs（持続可能な開発目標）に関連する話題を多く取り上げた。また、「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」からの発展を考慮し、生徒が身近な話題からより社会的な話題へ、さらには抽象的な話題にも視点を広げながら考えられるような場面・状況・目的を設定した。
- ・ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、スピーチの活動については、Main Unitの後に Skills ページを設け、その形式や方法について解説し、活動を用意した。各 Unit でスピーキング活動とライティング活動を行った後、Unit で扱ったトピックについて Skills ページでさらに深く学習できる構成としている。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-51	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論Ⅲ 710	FACTBOOK English Logic and Expression III		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- ・公共の精神に基づき、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、SDGs（持続可能な開発目標）を参照しつつ、現代において解決すべき諸問題を幅広く採り上げた。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報や相手の考えなどを的確に理解し、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を養うために、各課のトピックに関連した特定の場面・状況を設定し、明確な目的をもって取り組める活動を豊富に用意した。
- ・生徒が言語活動に主体的・自律的に取り組むことができるよう、スピーキング活動・ライティング活動に際してのモデルを豊富に設けるとともに、自己評価や自己改善に活用できる評価ルーブリックを用意した。
- ・生徒が複数の資料を活用しながら言語活動に取り組めるように、多様な情報や意見を教科書に掲載するとともに、生徒自身が自ら資料を探せるように「証拠資料の探し方」の解説を巻末に用意した。

II. 教科書の構成

- ・Main Unit と Skills ページの 2 つのパートから成り、Main Unit は以下の 3 つの Stage で構成している。

[1st Stage] Unit 1～5

主に日常的・社会的な話題を扱う。言語活動はディスカッション、パラグラフライティング、スピーチなどを行う。

[2nd Stage] Unit 6～10

主に社会的・抽象的な話題を扱う。言語活動はディスカッション、パラグラフライティング、複数パラグラフのエッセイライティング、プレゼンテーション、スピーチなどを行う。

[3rd Stage] Thinking Logically

社会的な話題を扱う。さまざまな言語活動を通してテーマへの理解を深めながら、パラグラフライティング、複数パラグラフのエッセイライティングを行う。

- ・Skills では、ライティング、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、スピーチなどの活動を行う。Unit の中での活動と関連づけることで、Unit で扱ったトピックについての学びを Skills でさらに深められる作りになっている。
- ・巻頭にパラグラフライティングについて解説するページを設けており、Main Unit で学習するさまざまなパラグラフの展開方法を俯瞰できるようにしている。また、巻末には複数のパラグラフから成るエッセイの書き方や、証拠資料の探し方についての解説を掲載している。

Ⅲ. 各課の学習の流れと編集上の留意点

[Unit 1～10]

①Can-Do!

当該 Unit を通して英語でできるようになることを示し、学習の目的を明確化した。

②Small Talk

吹き出しの質問をヒントにペアで会話を行うことで、スキーマを活性化し、当該 Unit で扱うトピックへの関心を高められるようにした。

③Listen

当該 Unit のトピックに関連する会話を聞き、メモを取らせる活動を用意した。また、図への空所補充を通して会話の要点を整理できるようにした。

④Tips for Writing a “○○” Paragraph

特定の型（展開方法）を用いてパラグラフを書くためのポイントを解説するページを用意した。モデルの文章とともに解説することで、具体的に書き方が伝わるよう工夫している。

・ Useful Expressions for Good Logic

論理的に適切な文章を書くための表現を学習するため、当該 Unit で扱う型のパラグラフを書くうえで役立つ例文を掲載している。モデルの文章から例文を多く引用することで、文のつながりを踏まえながら表現を確認できる。

⑤Speak

論題についての思考を深めるために、ペアでディスカッションを行う活動を用意した。ディスカッションを行うにあたり、特定の目的・場面・状況を設定した。また、思考のヒントとなる図やイラストを適宜掲載している。

・ Key words and expressions for thinking

議論で使える表現を掲載した。語彙の支援になるとともに、思考のヒントとしても活用できる。

・ Background Information for Thinking

論題について考える際に必要な背景知識を与えるコーナーを用意した。

・ Speak Again

ディスカッションを行った後、ディスカッションのモデル音声を聞き、それを踏まえて再度ディスカッションを行う活動を用意した。モデルのスクリプトは教科書に掲載せず、音声のみ聞けるようにすることで、支援をしすぎないよう配慮した。

⑥Write

論題についてパラグラフィティングを行う活動を用意した。ライティングを行うにあたり、Organizing, Outlining, Drafting, Improving の4つのステップを設け、段階を踏んでパラグラフを書けるようにした。

・ Step 1: Organizing

図を使って自分の考えを整理する。

・ Step 2: Outlining

Step 1 で整理したアイデアをもとに構成を組み立てる。

・ Step 3: Drafting

実際にパラグラフを下書きする。

・ Step 4: Improving

Model Paragraph A, B の文章について設問を解きながら、パラグラフの構成や内容を確認する。2つの

レベルを掲載することで、それぞれを比較しながら、どのような点を改善できるかを実感できるように工夫した。

• **Even better!**

モデルパラグラフ内の文章に対して、さらに言語的な改善を行う活動を用意した。

• **Write a Multi-paragraph Essay**

2nd Stage (Unit 6~10) には、Write で書いたパラグラフを発展させて、複数パラグラフのエッセイを書く活動を設けた。

• **Speech/Presentation/Discussion/Debate**

Skills のページへのリンクを示し、当該 Unit で扱ったトピックを踏まえてさらなる言語活動を行えるようにした。

⑦ **Extra Writing**

当該 Unit で学習した文章の型を活用できる別のライティング問題を用意した。異なるトピックについての問題を掲載することで、トピックに関わらず型を応用できることを実感できるよう工夫している。

[Thinking Logically]

① **Can-Do!**

当該 Unit を通して英語でできるようになることを示し、学習の目的を明確化した。

② **Small Talk**

吹き出しをもとに会話をするので、スキーマを活性化し、トピックへの関心を高められるようにした。

③ **Listen/Listen Again**

論題に関する 2 人の会話を聞き、聞いた内容に関してペアで意見を交換する活動を設けた。また、会話をもう一度聞き、どちらの話者がよりよい議論をしていたかを考えさせる活動を設け、談話の論理展開に注意させるようにした。

④ **Discussion**

論題に関連する英文を読み、そこで言及されている問題について議論する活動を用意した。英文の概要を整理するとともに、その中にある論理的誤謬を指摘させることで、自身が論理的思考を行う際に役立てられることを意図している。

⑤ **Logical Thinking Tip: Recognizing a Logical Fallacy**

前ページの英文を踏まえて、議論の際に陥りやすい論理的誤謬の一つである **slippery slope** (滑り坂論法) について解説するページを設けた。定着を促すための演習問題も掲載した。

⑥ **Analyzing a Discussion**

サンプルとなる議論を用意し、議論の中に含まれている **slippery slope** を指摘させる活動を用意した。

⑦ **Write①**

論題について原因・結果型のパラグラフライティングを行う活動を用意した。ライティングにあたっては、**Organizing, Outlining, Drafting, Improving** の 4 つのステップを設け、段階を踏んでパラグラフを書けるようにした。

⑧ **Tips for Writing a Multi-paragraph Essay**

原因・結果型のパラグラフを、複数のパラグラフから成る問題解決型のエッセイに発展させるための解説コーナーを設けた。

⑨ **Information Sharing for Thinking**

Write①で分析した問題と結果に対する解決策に関連する記事を読み、この後で行う問題解決型のエッセイライティングにおいて有用な情報をペアで共有する活動を用意した。

⑩Write②

Write①で書いた1パラグラフの文章をもとに、問題解決型のエッセイライティングを行う活動を用意した。ライティングにあたっては、**Organizing, Outlining, Drafting, Improving**の4つのステップを設け、段階を踏んで複数パラグラフから成るエッセイを書けるようにした。ImprovingではModel Essay A, Bの文章について設問を解きながら、パラグラフ内及びパラグラフ間の構成や内容を確認する。2つのレベルを掲載することで、それぞれを比較しながら、どのような点を改善できるかを実感できるように工夫した。

[Skills]

【Writing an Email】

読み手を意識した丁寧なメールの書き方を学習できるページを用意した。ライティングを行う際には、読み手との関係性が具体的にできるように、特定の場面・状況・目的を設定した。

【Describing Infographics】

図や写真などの視覚情報を相手にわかりやすく伝えるための文章の書き方を学習できるページを用意した。

【Having a Formal Discussion】

司会を立ててグループで行うフォーマルディスカッションを学習できるページを用意した。Unit 3で扱った話題と関連付けることで、Unitでの学習を知識や思考の足場としてフォーマルディスカッションに取り組めるよう配慮した。

【Having a Debate】

準備型ディベートであるアカデミックディベートを学習できるページを用意した。Unit 6で扱った論題を利用した活動を設けることで、Unitでの学習を知識や思考の足場としてディベートに取り組めるよう配慮した。

【Making a Research Presentation】

問いを立ててリサーチをし、自分なりの考えを主張するプレゼンテーションを学習できるページを用意した。Unit 1で扱った論題と関連付けることで、Unitでの学習を知識や思考の足場としてプレゼンテーションに取り組めるよう配慮した。

【Making a Speech】

聞き手に配慮したスピーチを行うためのページを用意した。Unitで書いたパラグラフをもとにスピーチを行う活動を設けた。

[その他]

生徒が自身のライティングやスピーキングを分析的に評価できるように、巻末に評価ルーブリックを掲載した。また、ペアでやり取りを行う際に参照できる表現集 (Communication Strategies) を巻末に掲載した。

2. 対照表							
図書の構成・内容	内容				内容の取扱い	該当箇所	配当 時数
	(1) 英語の特徴やき まりに関する事項	(2) 情報を整理しながら考 えなどを形成し、英語で表 現したり、伝え合ったりする ことに関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項				
			① 言語活動に関す る事項	② 言語の働きに関 する事項			
Unit 1 Future of jobs in the AI era	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア), イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	○	pp.14-19	4
Unit 2 How have you grown as a person in your high school life?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア), ウ(ア)	ア(ア), イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	○	pp.20-25	4
Unit 3 How do people use different types of media?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.26-31	4
Unit 4 3R approach in order to save the environment	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.32-37	4
Unit 5 Moving toward a cashless society	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.38-43	4
Unit 6 Are artificial additives really bad for us?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.44-49	5
Unit 7 Japanese culture attracting people all over the world	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.50-55	5
Unit 8 Will we live in a decarbonized society in the future?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.56-61	5
Unit 9 Reading e-books or printed books?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.62-67	5
Unit 10 The way we live together in the same world	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.68-73	5
Thinking Logically What can we do about our shrinking population?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.74-84	6
Writing an Email	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, エ(ア)	ア(ア)(ウ), イ(イ) (ウ)(エ)(オ)	○	pp.86-90	2
Describing Infographics	ア(イ)	ア, イ	ア	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.91-93	2
Having a Formal Discussion	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ (ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.94- 103	4
Having an Academic Debate	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	○	pp.104- 111	4
Making a Research Presentation	ア(イ)	ア, イ	ア, ウ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(イ) (ウ)(エ)(オ)	○	pp.112- 119	4
Making a Speech	ア(イ)	ア, イ	ア, ウ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.120	1
							68